



きした 敬 木下けいじ 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

南房総市・安房郡特集

かつて千倉町長も務め、県南地域の振興と発展を自らの政治命題に掲げる南房総市・安房郡選出の木下敬二(きした・けいじ)県議は、昨年9月県議会に続き、2月定例会でも一般質問に登壇し、地域が抱える課題を県執行部に訴えました。

木下県議は、条例改正に伴う公務員の「駆け込み退職」の予測を尋ね、職員に欠員が生じた場合、対応に支障がないよう、県当局に要請しました。

また、地域の政策課題では、道路問題、水産問題などを取り上げ、道路整備では、国道410号の川谷地先工区と、県道和田丸山館山線の沓見工区で行われている工事が、ともに来年度中の完成を目指して進められていることが明らかにされました。水産物の放射性物質による風評被害など、木下県議の主な質問を特集しました。

2月県議会一般質問から



2月県議会一般質問から
木下敬二県議

2月県議会一般質問から
木下敬二県議

“駆け込み退職”で見解ただす 欠員への的確な対応求め!

欠員への的確な対応求め!

木下議員 官民格差解消のため、国家公務員の退職手当法等の改正が昨年11月に成立したことを受け、総務省は全国の自治体に国家公務員並みに退職手当を引き下げるよう要請しました。千葉県でも、今定例会議会に条例改正案が提出され、3月1日から施行となり、県庁職員のほか、警察官や小中高校の教職員などに適用されます。

施行後は、勤続35年以上の職員の場合、概ね現行と比べ、3月1日から約140万円、12月1日から約280万円、次の年の9月から約400万円と段階的に減額されることとなります。いわゆる駆け込み退職する職員に対し、知事

知事 定年退職予定者が、条例施行日より前に退職する、いわゆる駆け込み退職に対しては、議員ご指摘のとおり、批判と擁護の声があることは承知しております。

残念ですが、職員にはそれぞれさまざまな事情があり、熟慮の上、判断した結果であると考えております。

木下議員 千葉県での現時点における、駆け込み退職の状況はどうか。

知事 教育委員会を除く今年度末の定年退職予定者605名のうち、いわゆる駆け込み退職の意思を示している職員数は、本年1月30日現在で、知事部局等で9名、公営企業で4名、計13名となっております。県警本部では0名と聞いております。

なお、教育委員会では、各学校に周知を図っているところであり、退職の意思を示している教職員の数は、今後とりまとめる予定です。

木下議員 駆け込み退職により欠員が生じる場合もあると思うが、どのように対応しようと考えているのか。

知事 欠員に対しては、必要に応じて臨時に職員を採用するなど、それぞれの現場で業務に支障が生じることのないよう、しっかりと対応してまいります。

水産試験研究を要望

木下議員 水産業の研究を取り巻く近年の状況変化について、県はどのように認識しているのか。

農林水産部長 県はこれまで、水産業の振興をはかるため、①資源増大と操業の効率化につながる研究②付加価値向上による魚価向上や消費拡大につながる研究③漁場環境の変化に対応した研究—などに取り組んできました。

しかしながら、近年、水産資源低迷の長期化をはじめ、産地間競争の激化や水

産物消費の落ち込み、東京湾における海水温の上昇など、新たな課題が生じています。

そのため、これらの新たな課題解決に向けて、現場のニーズに的確に対応した試験研究を効率的に進めていく必要があると考えています。

木下議員 今後の研究の方向性について、どのように考えているのか。

農林水産部長 近年の状況変化の中、水産物の安定的な生産及び収益性の高い

●千葉県や南房総市・安房郡へのご要望をお気軽にお寄せください……

木下けいじ 県議事務所

〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1
TEL.0470 (44) 4111
FAX.0470 (44) 4112

●木下けいじ公式ホームページ=<http://kishitakeiji.com/> ●Eメール=info@kishitakeiji.com

- 経営の実現を図るため、
1. 漁業所得の向上につながる資源対策、新技術の導入
 2. 鮮度・衛生管理技術の強化や未利用・低利用魚種の利用促進につながる新たな加工品の開発
 3. 厳しい環境の東京湾のノリ・貝類等の生産力の向上
- などの研究に積極的に取り組む必要があるものと考えております。
- 要望** 水産の試験研究については、水産業振興のためにも、試験研究機関の機能強化を是非とも図っていただくよう、強く要望します。

地域振興に道路整備は不可欠!

川谷地先は25年度完成へ

国道410号

木下議員 南房総地域では、東関東自動車道館山線など高規格幹線道路の整備により、広域幹線道路網との接続が飛躍的に向上してきました。しかしながら、

高速道路を降りてきた車両を受け入れる一般道路の整備が、未だ不十分です。国道・県道でも大型観光バスのすれ違いが難しい箇所がいくつもあり、市街地でも十分な歩道が整備されていないなど、通行に支障をきたしております。

南房総地域における国道410号の川谷地先及び八丁地先の整備状況と、今後の見通しはどうか。

県土整備部長 国道410号は、南房総地域の中央部を縦断する重要な幹線道路であり、幅員狭小で屈曲部が多い南房総市川谷地先及び鴨川市八丁地先において整備を進めているところです。



再質問で身を乗り出して話す木下県議

このうち、川谷地先では900メートル区間について、拡幅工事を行っており、平成25年度の完成を目指しているところですが、また、八丁地先では鴨川市側の600メートル区間について、測量や詳細設計を進めているところであり、今後、用地取得に着手していく予定です。

県道の整備

木下議員 県道和田丸山館山線の整備状況と、今後の見通しはどうか。

県土整備部長 県道和田丸山館山線については、線形が悪く幅員狭小の区間において、幅員等の整備を進めているところです。現在、沓見工区460メートルに

沓見工区も新年度完成へ

沓見工区も新年度完成へ

沓見工区も新年度完成へ

沓見工区も新年度完成へ

沓見工区も新年度完成へ

水産物の風評被害払拭を!

水産物の風評被害払拭を!

木下議員 水産物への放射性物質の影響による風評被害の問題ですが、一時ほどではないとはいえ、イワシ等の加工品やサバ・サンマ等の輸出用冷凍水産物などでは、依然として風評被害の影響は大きいものがあると聞いています。

未だに風評被害の影響が存在するのは、食の安全・安心にとつて極めて重要なこと。このような事実が消費者に十分理解されていない結果ではないかと考えます。

そこで伺います。放射性物質による風評被害払拭のため、イワシ、サバ、サンマ等の安全性のPRについて、国へ強力に働きかけていく必要があると思うが、どのように考えるのか。

農林水産部長 本県で生産される水産物の販売については、原発事故直後に比べ回復してきましたが、サバ、サンマなどの主要輸出国である中国やロシアへの取引が停止していることや、国内においても一部の加工品には、取扱量の減少がみられる等の影響が続いています。

これまで流通している県産水産物については、放射性物質モニタリング検査で安全性が確認されており、県では、その結果をホームページで速やかに公表し、安全性をPRしてきました。

県では、引き続き、県内外のイベントや商談会等を通じて、県産水産物の消費拡大を図るとともに、取引が停止している国への輸出が再開されるよう、国に対し、積極的に働きかけてまいります。

輸出については、静岡以北は原発の影響を受けているとみているような風潮が外国の方にはあるようです。外国産原料

アワビの輪採漁場

木下議員 アワビの輪採漁場の造成は、どのようにして行われてきたのか。

農林水産部長 輪採漁場は、安定的にアワビの漁獲量を確保するため、漁場を3区域に区分し、種苗放流した後、2年間の禁漁を行い、3年目に漁獲するというサイクルで利用しています。

今後の課題

木下議員 輪採漁場の今後の課題と問題点はどうか。

農林水産部長 アワビ種苗は、インダイ等の外敵生物の活動が低下する冬場に放流を集中して生き残りを高めることや、エサとなる海藻が十分育つよう、それ以外の海藻を刈り取り、生育環境を改善することが必要です。

また、輪採漁場は、漁場利用の変更に伴う地元漁業者の合意形成や、水深の浅い岸より魚場に対する監視活動の強化など、漁業者の前向きな取り組みも求められるところです。今後とも、放流種苗の漁獲状況を調査



壇上から県執行部に語りかける木下県議

トンネル事故

木下議員 1月30日に君津市で国道410号のトンネルの天井崩落事故がありました。幸い、けが人もなく済みましたが、同じ構造のものには直ちに緊急点検しているようですが、その他のトンネル・橋梁について、県はどのように対応しているのか。

県土整備部長 今回と同様に、モルタルで吹き付けした構造のトンネル20カ所については、緊急点検を実施したところです。さらに、詳細点検を行うべく準備を進めています。

また、その他のトンネルや橋梁、舗装、ノリ面なども定期点検がありますが、それを前倒しして、今後早期に点検を実施し、社会資本の信頼性の確保にしっかりと努めてまいりたいと思っております。